

B型事業所 アクセプト
令和4年5月
地域協働活動報告

地域に根ざした事業所づくり

わくわくネットワークを通じた 地域の企業体との連携活動

- 。宮崎市の就労系事業所の任意団体である、一般社団法人わくわくネットワーク。わくわくネットワークに地域の企業から依頼された受注作業はあるものの、納期がある事、作業の難しさ、単価が合わない等の理由から、各事業所の受け入れ状況は良い状況とは言えない。そのため、仕事はあっても引受先がないと事務局も悩んでいる。当事業所は、受け手がいない作業も積極的に取り入れ、地域企業の困りごとの解決を図っている。各企業と直接の連携を取り、指定された製品を期日までに仕上げる事を目標としており、利用者と伴に納期を意識した「仕事」として取り組んでいる。また、作業単価については作業の細分化、利用者の配置、役割分担等の工夫を行い、できる限り効率化する意識を持ちながら取り組んでいる。受注作業における実績はわくわくネットワークの仕事のあっせん実績に直結している事もある。地域を支える存在としての、わくわくネットワークのポテンシャルをさらに引き出せるよう取り組んでいく。

地域企業連携

有限会社矢野青果 千切り大根袋詰め作業

地場産業の一つ、千切り大根の製造、販売を行う地域企業。

わくわくネットワーク受注。

製品の種類が多く、各製品に合わせた対応を行う必要がある。現在、複数の事業所で取り組みを行っているも、生産量に課題がある。また、製品に応じた対応が難しいとの理由で受注を敬遠されている面もある。当事業所としては、生産の安定化、生産量の確保、作業効率化を重点課題として取り組み、地域企業の課題解決の一翼を担っている。利用者にも、先述した「仕事」として取り組んでもらう事を意識してもらい、地域企業から安心して仕事を任せてもらえる存在となりえる事を知ってもらう。それが、就労に対する自信、信頼の確保、やりがいとして捉えられるように支援していく。就労希望のある、能力の高い利用者に関しては直接の雇用に向けてアプローチしていく。また、製品を卸してもらい、それを事業所で販売する活動も行う。相互連携を深め、お互いにメリットがある関係性を構築し、維持継続していく。

地域企業連携

株式会社Have fan Factory

サプリメント製品箱詰め等

宮崎市に製造工場を持つ、サプリメント製品製造・販売の企業。

わくわくネットワーク受注。

サプリメント製品の箱詰め作業、シール貼り作業を受注している。1回の受注量が数千個単位であり、さらに納期が短い点が敬遠されるポイントとなっている。社長も、障がい福祉への関心が高く、なるべく障がい福祉サービス事業所へ発注依頼をしたい思いを持っている。しかし、先述の通り、受注する内容の難易度が高く、応えられる事業所が少ない。当事業所は作業効率化、納期の厳守を最重点課題としており、地域企業の困りごとへ対応できる事業所として成果を上げる。利用者も、納期があることに対して責任感を持って「仕事」として取り組むことができている。地域企業に頼られる事業所であることが、利用者の自信、就労への意欲に強く作用していると感じている。

近隣住民の方たちへ

事業所前イベント販売会

近隣住民の方たちへ向けた、周知活動として事業所前での定期的な販売会の実施。

事業所の前で骨董品、アパレル製品、ハンドメイド製品、飲食物の販売を行う。

販売するハンドメイド製品の作成、骨董品等の洗浄、修繕を行う。イベント当日の売り場づくり。来場者に対する対応。イベント販売会として、物を売る活動を通じ、売れる喜び、客とのかかわりなどにやりがいを感じてもらうことで、就労することへの意欲を高める。恒久自治会・民生員・地域住民等とのつながりを生み出す。そして、地域の方々に事業所の存在を周知し、障がい福祉に関する地域の困りごとなどを相談できる存在となれるように取り組む。

また、生産活動につながるような地域の困りごとを掘り起こし、手伝うことで報酬が得られるように関係性を構築していく。

地域企業連携（5月より新規受注）

株式会社シンセラティ

EC販売商品の梱包等

宮崎市に拠点を置くEC販売の地域企業。

わくわくネットワーク受注。

ECにおける業務、梱包作業を受注して取り組んでいる。当事業所もECに取り組んでいるため、そのノウハウ蓄積にも協力してもらっている。また、作業量の多さと物量から、やはり引き受け手の少ない作業である。作業を探し、提供するわくわくネットワークの存在意義、地域企業の後押しを念頭に、難しい作業ではあるが、請け負っている。

また、先述の通り、EC販売におけるアドバイス等が受けられる大きなメリットがある。双方が良いと思える関係性を構築、維持していけるよう取り組む。

これからの発展性も見込めるため、ともに成長できるように相互理解を深めていきたい。

令和4年5月度実績

○ 矢野青果千切り大根袋詰め作業

総売上：177,262円

今月度も、安定した生産を維持継続することができた。また、不備の指摘も少なく、精度も良い状態が継続できた。

引き続き、100gの受注が多く、売上は落ちたものの、企業の期待には応えられている。

地域企業、地場産業を縁の下で支えていく気持ちを持って取り組んでいく。

また、矢野青果製品の仕入れ販売を計画しているが、マンパワー不足もあり、実施に至っていない。現在、パート職員の募集を行っている。人力的課題がクリアできた際に、次の取り組みとしていきたい。

令和4年5月度実績のつづき

。事業所前イベント販売会

総売上：29,300円

5月14日、21日に実施。鶏の炭火焼、骨董品の販売。地域の方へのチラシポスティングを行う。チラシを見てきてくれる方、リピーターの方が来て下さった。鶏の炭火焼きの味の評判も上々である。骨董品についても興味を持たれたリピーターの方が、友人を誘い来てくれた。少しずつ認知されてきている実感を持てるようになってきている。引き続き、コツコツと続けることが大事だと感じている。

また、時々売り物を変えてみるなどの工夫をしたいと思っている。

次回は山形屋ストア販売会があるため、実施できるかどうかの判断が難しい。

令和4年5月度実績のつづき

。シンセラティ梱包作業

総売上：34,259円

新しい作業として、シンセラティ様の梱包作業の取り組みが開始された。宮崎市の企業であり、地域での引き受け手を探していた。実際に事業所まで足を運んでくださり、直接の指導等も行っていただいた。

作業自体はそれほど難しいものではない。単価も高いため、とてもありがたい作業になっている。社長も、地域の障がい福祉への貢献を意識されている。

今後も、障がい者雇用等の相談、アドバイスを行う予定となっている。双方に利がある形での関係性を構築できるように取り組みたい。

令和4年5月度実績のつづき

◦ Have fun Factory サプリメント製品の梱包作業等

総売上：25,390円

今月度は、単価の低い作業が中心となり、売り上げそのものは上がらない状況となった。しかし、来月度において、単価の高い、箱折作業を大口で引き受ける事となった。

地域企業との連携を意識し、しっかりとした意思疎通を行った結果と言える。引き続き、信頼を維持できるように取り組みたい。

来月の受注数はかなりの数となる。そのため、さらなる相互理解を深めていく必要がある。

各作業の様子

- 矢野青果千切り大根袋詰め作業



今月も100gの受注が多かったが、全体的に安定した稼働となった。目標額はもう少し上であったが、他の作業で賄う事が出来た。引き続き、先方の要請に応えられる形で取り組みを行いたい。

各作業の様子

- Have fun Factory
サプリメント箱詰め作業等



今月は単価の低い作業が中心となってしまったが、それを順調にクリアする事が出来た。そのおかげか、次月において、高単価の作業を大口で確保する事が出来た。引き続き、信頼を維持できるように取り組みたい。

各作業の様子

○ 事業所前イベント販売会



今月も事業所の前でイベントを実施した。地域の方も少しずつ認知してくださり、足を運んでくれるようになってきている。引き続き、月に2回のペースを維持して、定着化を図りたい。次回は山形屋ストア販売会が実施される予定。その分、6月の事業所前イベントは1回にしておきたい。